

指定管理者総括調書（令和元年度）

施設名	大牟田市延命プール		
担当部署	市民協働部 スポーツ推進室	電話番号	0944-53-1503

I 指定管理者の情報

指定管理者名及び代表者名	NPO法人大牟田市体育協会		
指定管理者の所在地	大牟田市宝坂町2丁目86番地		
指定期間	平成29年	～	令和3年
		選定方法	公募
指定管理者種類	<input type="checkbox"/> 市内企業 <input type="checkbox"/> 市外企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO・ボランティア団体等 <input type="checkbox"/> コミュニティ組織等 <input type="checkbox"/> 財団法人・社団法人・社会福祉法人・医療法人・学校法人等 <input type="checkbox"/> その他		
業務の範囲	①施設利用申込の受付、利用許可に関すること ②施設利用料金の徴収に関すること ③施設の受付案内に関すること ④利用者の安全に関すること ⑤施設、設備、備品等の維持管理及び修繕に関すること ⑥プール開場期間外の維持管理に関すること ⑦提案事業に関すること ⑧その他		

II 施設の情報

所在地	大牟田市黄金町1丁目68番地			施設の設置目的	市民の健康づくり及び体力増進のための生涯スポーツに役立ち、幼児から高齢者まで誰もが安全に楽しめる、人にやさしい施設とする。 また、衛生的で安全性を確保した、快適で使いやすく、市民が水に親しみ、人とふれあう、楽しめる施設を目指す。
設置年月	平成19年8月	増改築年月	平成28年3月		
施設の設置根拠	大牟田市体育施設条例				
施設の概要	敷地面積	8,364	m ²		
	延床面積	353	m ²		
実施事業の概要	・25mプール 面積404.40m ² 25m×16.5m(うちスロー階段1.5m) 競泳用3コース 歩行用コース(周長30m) ・子ども用プール 面積290.26m ² 水深60cm(なぎさ部分 水深25cm～) ・幼児用プール 面積113.83m ² ・ウォータースライダー 延長39.7m スタート部高さ5.5m 着水プール(水深1m) ・管理棟 延べ面積223.84m ² 更衣室(男女)34.24m ² 、監視室、救護室、トイレ(男、女、多目的)、シャワー室、倉庫 ・機械棟 延べ面積 94.99m ² 機械室(ろ過機(砂ろ過式)、塩素供給・凝集機各2台等設備他)、休憩スペース(専用使用更衣室)、トイレ(男女)、倉庫 ・多目的広場 1,661m ² (飲食・休憩スペース) ・駐車、駐輪スペース 身障者用駐車スペース3台 駐輪スペース約240台				
	休館日	無(開場期間R1/7/6～8/31 57日)	開館時間	10:00～18:30	
実施事業の概要	市指定事業	・水泳の普及及び促進に関するイベント ・市民の健康・体力促進に関する事業(水泳教室等) ・利用者サービス向上を目的とした飲食物等の販売 ・利用者へのサービス向上を目的とした事業及びイベントの実施 ・休業期間中の施設の活用			
	自主事業	・オープニングセレモニー(雨天中止) ・救命法講習会 ・水泳教室			
料金	利用料金制度	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無			

III 施設の利用状況

施設利用状況等の推移	区分			H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績
	開館日数	単位	日	55	55	57		
	施設の総利用者数等	単位	人	17,707	16,324	13,263		
施設利用状況等の推移	個別事業における利用状況等の推移							
	大人			6,113	5,556	4,515		
	中高生			797	824	647		
	小学生			5,982	5,523	4,539		
	幼児			2,641	2,465	1,973		
	3歳未満			825	844	705		
	専用使用			991	1,053	841		
減免			358	59	43			
利用料金収入	施設の利用料金収入	単位	千円	4,392	4,139	3,732		

IV モニタリング結果
管理運営評価シートの結果

評価結果	227点 / 285点	I 施設の運営 II 施設の管理 III 継続性・安定性 IV その他	118点 / 150点
	(平均点: 4.0点)		97点 / 120点
			12点 / 15点
			0点 / 0点

モニタリング項目に関するコメント

	コメント
I 施設の運営	指定管理者3年目となり、施設の設備等の維持管理は適切に運営されている。 自主事業の水泳教室については、参加者が少なかったことから、募集方法等についても工夫されたい。 利用者の安全確保については、現場の安全対策に努め、管内放送や張り紙で注意喚起を行うなどの対応が図られていた。
II 施設の管理	仕様書等に基づいた保守点検等は、適切に実施され利用者の安全性の確保に努められた。 また、閉館期間の施設周辺の定期清掃は、事業計画通り実施するなど、環境改善に努められていた。
III 継続性・安定性	収支の状況については、酷暑及び悪天候の影響により、利用者数が、昨年度より約3千人減少、3年連続の赤字となった。 次年度からは自主事業を含め、利用者増につながる取り組みが必要である。
IV その他	

総 評

指定管理者3年目の今年は、体育施設運営者として、これまで培ってきたノウハウを十分発揮し、来場者に快適に利用してもらうようスタッフ一丸となって運営に携われた。しかしながら、3年連続の赤字運営となっていることから、今後は、水泳協会等との協力のもと、自主事業も含め収益増につながる取り組みを期待する。